



▲「リノベのわ」では「つくる」欲が高まる人、続出！

地域自主組織『なわのわ』  
「つくる人」が、つどう場をつくる！  
ふり返りと2年目の挑戦

昨年4月に設立したなわのわ。なわほ（旧名和保育所）を拠点とし、「集まる」「つながる」「やってみる」の3つが、ゆるやかに循環する場づくりを目指しています。

「楽しく」始め、「楽に」続けられる取り組みを

2019年の活動を振り返ると、なわほでは40回以上ものイベントを開催しました。

一品持ち寄りの夕ごはん会「ごほんのわ」、みんなでキッチンをつくる「リノベのわ」の定期開催に加え、ビールと花火を楽しむ「夕涼みガーデン」

や「くらべる芋煮会」、名和の名所を歩く「なわのわさんぽ」、正月飾りづくり「縄のわ」などの会が開かれ、地域内外の参加者同士の交流とつながりました。

また、主催イベントとは別に、地域住民の方がなわほを利用し、「3B体操」や「笑いヨガ」「はじめましての短歌」などの活動も。名和小6年生たちが企画したフリーマーケットも盛況で、少しずつですが、なわほスペースの使い方も広がってきています。

何か新しいことを始めるとき、なわのわで大切にしていることがあります。「楽に、楽しく」「ハードルは低く」「適切な自己中心性」の3つです。

小さく始めて、無理なく続けていくためにも、自分の興味関心のある「自分ごと」から始まる活動をじわじわと増やしていければと思います。

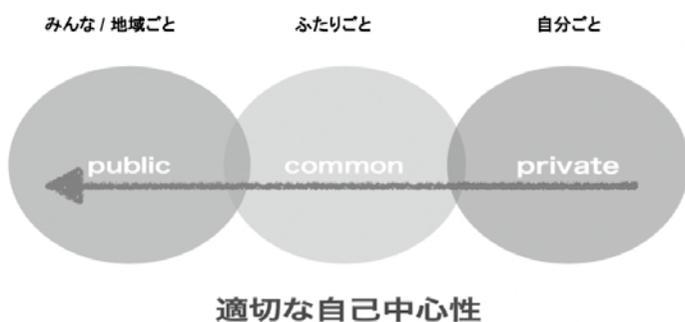
1年目の気づきを、2年目の新たな事業づくりに

2年目のなわのわでは、どんな事

業を進めていけるのか。1年目の活動と、住民の皆さんとのやり取りを通じて、地域に不足する「場」の存在に気づきました。

「場」とは、「飲食店」「まわりを気にせずに、日曜大工ができる場」「漫画やゲームなどの趣味で集まれる場」「デザインや情報発信など、仕事に活かせることが学べる場」「子どもがプロジェクトを実践できる場」などの居場所です。

すべてをいきなり解決できるとは思いませんが、色々な声をくみ取りながら、新たな事業づくりを進めていきたいと考えます。



▲「自分ごと」から「地域ごと」へ。個人の「やってみよう」が、段階的な「まちづくり」につながるように。



▲今年1月には、下中山地域自主組織「楽しもなごやま」の視察があり、ゆるやかな地区間交流も

新たな遊びや居場所、小商いなどをつくる。「つくる人」が集まる場を名和に学び、また、実践できる場をつくる。これが、なわのわの2020年度の挑戦です。

なわのわでは、多様な関わり方を探っています。「気になった」という方は、ぜひ一度足をお運びいただくか、問い合わせ先までご連絡ください。お待ちしております！

◆問い合わせ先

なわのわ事務局

nawanowa.info@gmail.com

※facebook ページ「なわのわ」で随時更新していますので、最新のイベント情報などはこちらからご確認ください。